

ネットワークカメラモニタリングユニット

# SiView3

クイックガイド(日本語簡易版)

Ver. 1.19.0424



株式会社ネットカムシステムズ

※本取り扱い説明書では、SiView / SiView2 / SiView3 製品に共通する内容には SiView という表記を使用しています。間違いではございませんので、予めご了承下さい。

## はじめに

この度は、株式会社ネットカムシステムズ社製ネットワークカメラモニタリングユニット「SiView」を御利用頂き、誠にありがとうございます。本製品は、簡単な構成でモニタリングシステムを構築したいというお客様の要望により誕生したモニタリングユニットです。ネットワークカメラの映像をモニターへ表示させるためにはパソコンや表示ソフトが必要ですが、SiViewがあれば簡単にモニタリングできます。

## 同梱品

- SiView3 本体
- AC アダプタ
- 電源ケーブル
- VESA マウント
- ねじ A 2 本(VESA マウント本体用)
- ねじ B 4 本(VESA マウントモニター側用)
- SiView3 簡易マニュアル(この冊子)

## 安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

- ・この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
- ・内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



人が死亡または負傷を負うおそれがある内容を示しています。

### 異物を入れない

・通風孔(裏ぶたのすき間)などからもの(可燃性・導電性のものを含む)を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

・火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

・電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

・内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

不安定な場所に置かない

・落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

・水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

台所や屋外など、PC に水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

・火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

電源コードに重いものを載せない

・火災・感電の原因となります。

本機を風呂やシャワー室のような湿気の多いところで使用しない

・火災・感電の原因となります。

落としたり、ケースを破損したときは、電源プラグを抜く

・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源プラグを抜く

・異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。

修理を販売店に依頼してください。

・お客様自身による修理は絶対におやめください。

内部に水や異物、または虫などが入ったときは、電源プラグを抜く

・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

・感電の原因となります。

使用中に本機を布や布団などで覆ったり包んだりしない

・熱がこもって、火災の原因となります。

異常に温度が高くなるところには置かない

・特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。

本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。

また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

本機を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがあるので注意する。

・長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。特に肌の弱い方はご注意ください。



## 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

### 免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

・倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く

・内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

・感電や火災の原因となることがあります。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

・接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手でコンセントに触れたり、電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因となります。

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

・発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事に交換の依頼をしてください。

電源プラグは確実に差し込む

・電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

・電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線しない

・火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

・電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、または調理器具や加湿器の近く、硫化ガス(H<sub>2</sub>S、SO<sub>2</sub>)が大気中に含まれる温泉地などには設置しない。

・火災・感電の原因となることがあります。

・大気中に含まれる硫化ガス(H<sub>2</sub>S、SO<sub>2</sub>)に長時間さらされると、硫化により金属が腐食し、故障の原因となることがあります。

健康のために、次のことをお守りください

・この製品を使用しているときに体の疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。

・ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

## ・使用上の注意

守っていただきたいこと

ケースのお手入れのしかた

・汚れは柔らかい布(綿、ネル等)で軽く拭きとってください。

ベンジン、シンナーなどで拭いたり、化学雑巾(シートタイプのウエット・ドライのものも含め)を使うと、本体キャビネットの成分が変質したり、塗料がはげたり、ひび割れなどの原因となる場合があります。

・硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、ケースの表面に傷がつきます。

・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布(綿、ネル等)をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。

・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

・ケースの変色や傷の原因となることがあります。

損害について

・お客様、または第三者利用によるこの製品の誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

設置時に関して

・本体は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

・本体の電源ボタンで電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されています。

・本体の左右には、それぞれ 10cm 以上のスペースを開けて設置してください。

長期間ご使用にならないとき

・長期間使用しないと機能が支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

・長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用が制限されている場所

・航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

電磁波妨害に注意してください

・本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります

使用温度について

・周囲温度は 0°C～40°C の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

結露(つゆつき)について

・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

・本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温をあげたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

・急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

雨天・降雪中でのご使用の場合

・雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、ケースが変形・

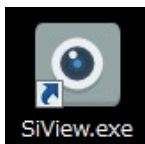
変色したり、故障の原因となることがあります。

・本体や電池などの部品を、直射日光が当たる場所にさらしたり、火や熱器具などの

近くで置かないでください。

## SiView の使用方法

### 1. 起動方法



本システムは、電源投入後自動的に起動します。  
また、設定により自動起動しないようにすることもできます。  
その場合は、デスクトップ上の「SiView」アイコンをダブルクリックして起動します。

### 2. 運用前の注意点・制限事項について

#### ■モニター解像度について

SXGA(1280×1024)以上のモニターが必要です。

#### ■分割表示数について

本製品は一度に最大で9分割の映像表示が可能です。

デュアルモニターで表示を行う場合、モニター1・モニター2ともに最大で4分割表示までご利用ください。

\*各モニターで9分割表示の設定は可能ですが、動作保証外となります。

#### ■画質とフレームレートについて

映像の解像度によって表示できる最大フレームレートが決まっています。

下記表を参考に、表示設定を行なって下さい。

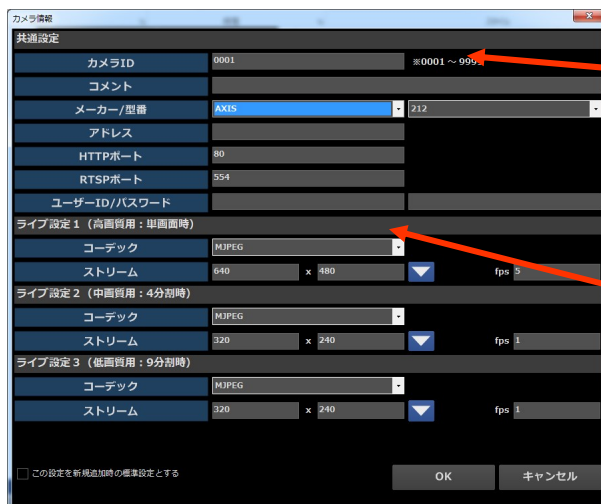
表示最大フレームレートは、映像の分割表示を行なった際に各カメラに設定したフレームレートを合算したのになります。

使用解像度	表示最大フレームレート
VGA(640*480)	合計 最大 60FPS
1.3M(1280*720)	合計 最大 30FPS
FullHD(1920*1080)	最大 15FPS * 単画面のみの出力をサポート

### 3. カメラ設定

ネットワークカメラに接続するための基本設定を行います。

- ・「設定」→「カメラ設定」を選択します。
- ・追加ボタンをクリックします。



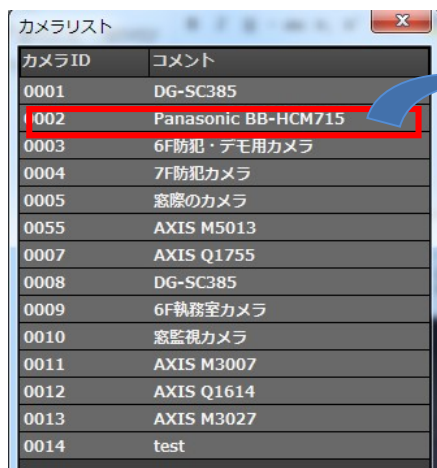
➤ カメラ情報を入力します。

カメラ ID は、0001～9999 の値を設定します。コメントは、カメラを識別する際に利用しますので、わかりやすい名称(設置場所など)を登録するようにして下さい。

ライブ表示フォーマットを設定します。ライブ画面の表示レイアウトに応じて高画質用/中画質用/低画質用が自動的に選択されます。

### 4. 分割画面へのカメラ割当て

- ・画面選択ボタンを押し、分割ウィンドウの登録を行います。
- ・登録後、「カメラリスト」ボタンを押し、下図のウィンドウを呼び出します。



登録されているカメラ一覧が表示されます。



➤ カメラを割付したいウィンドウにドラッグ & ドロップします。

## 5. カメラ操作

「カメラ操作」ボタンを押すと、画面左にカメラ操作ウィンドウが表示されます。

ボタンが暗くなっている場合、そのカメラでは使用できない機能です。プリセットボタン  
カメラに登録されているプリセット呼び出しを行います。(登録はカメラ側で行います)

### ズームボタン

カメラのズームを制御します。

－ : 画像を拡大します。

RESET : 初期位置に戻します。

＋ : 画像を縮小します。

### 白黒切替ボタン

AUTO : 白黒切替を自動で行います。

カラー : 常時カラー表示します。

白黒 : 常時白黒で表示します。



カメラ方向を制御します。

ホームポジションへ移動します。

### フォーカスボタン

AUTO : フォーカスを自動で合わせます。

Near : フォーカスを近くに合わせます。

Far : フォーカスを遠くに合わせます。

### 音声ボタン

出力/ボリュームを制御します。

## 6. 終了方法

本システムを終了する場合は、OS の再起動、シャットダウンを行ってください。

また、ソフトウェアのみ終了したい場合はライブ画面の Close ボタンから終了することもできます。

### 【開発】

株式会社ネットカムシステムズ

東京都千代田区外神田 3-10-3 プライム秋葉原ビル 6 階

<http://www.netcam.co.jp/>

E-mail: [netcam@netcam.co.jp](mailto:netcam@netcam.co.jp)